

和歌山市内における「風しん」の発生について

今シーズン、全国で風しん患者の増加が報じられています。全国では、40週までに1103名、和歌山県においては2名の届出を受けています。患者の多くは、ワクチン接種率が低い30代～50代の男性が占めています。

和歌山市においても、42週に1名の届出を受けましたので、お知らせいたします。

■ 50歳代 男性 予防接種歴 不明 発症日：10月13日 診断日：10月16日（PCR 検査診断）

現在、風しんに関する特定感染症予防指針を改正（平成30年1月1日適用）し、風しん及び先天性風しん症候群の発生時に迅速な対応ができるよう、風しんの患者が一例でも発生した場合に、感染経路の把握等の調査を迅速に実施するように努めるとともに、原則として全例にウイルス遺伝子検査を実施することで、確実に風しんを診断することとしています。

つきましては、発熱や発しんを呈する患者が受診した際は、最近の旅行歴、予防接種歴の確認などにご留意いただきますとともに、「風しん」と臨床診断した場合は直ちに保健所に情報提供をお願いいたします。また、感染拡大防止対策を進めるために、PCRによる行政検査を全例実施しますので、急性期の検体採取にもご協力をお願いいたします。

<確保していただきたい検体>

- ① 咽頭拭い液（VTM；専用ウイルス搬送用培地）
- ② 血液（EDTA加血 2cc 程度）
- ③ 尿（滅菌スピッツ 10cc 程度）

※①～③のうち採取可能な複数検体。

容器については、情報提供後お届けいたします。

連絡先

平日：和歌山市保健所 健康危機管理班 TEL(073)488-5109

夜間・休日：和歌山市役所 警備室 TEL(073)432-0001